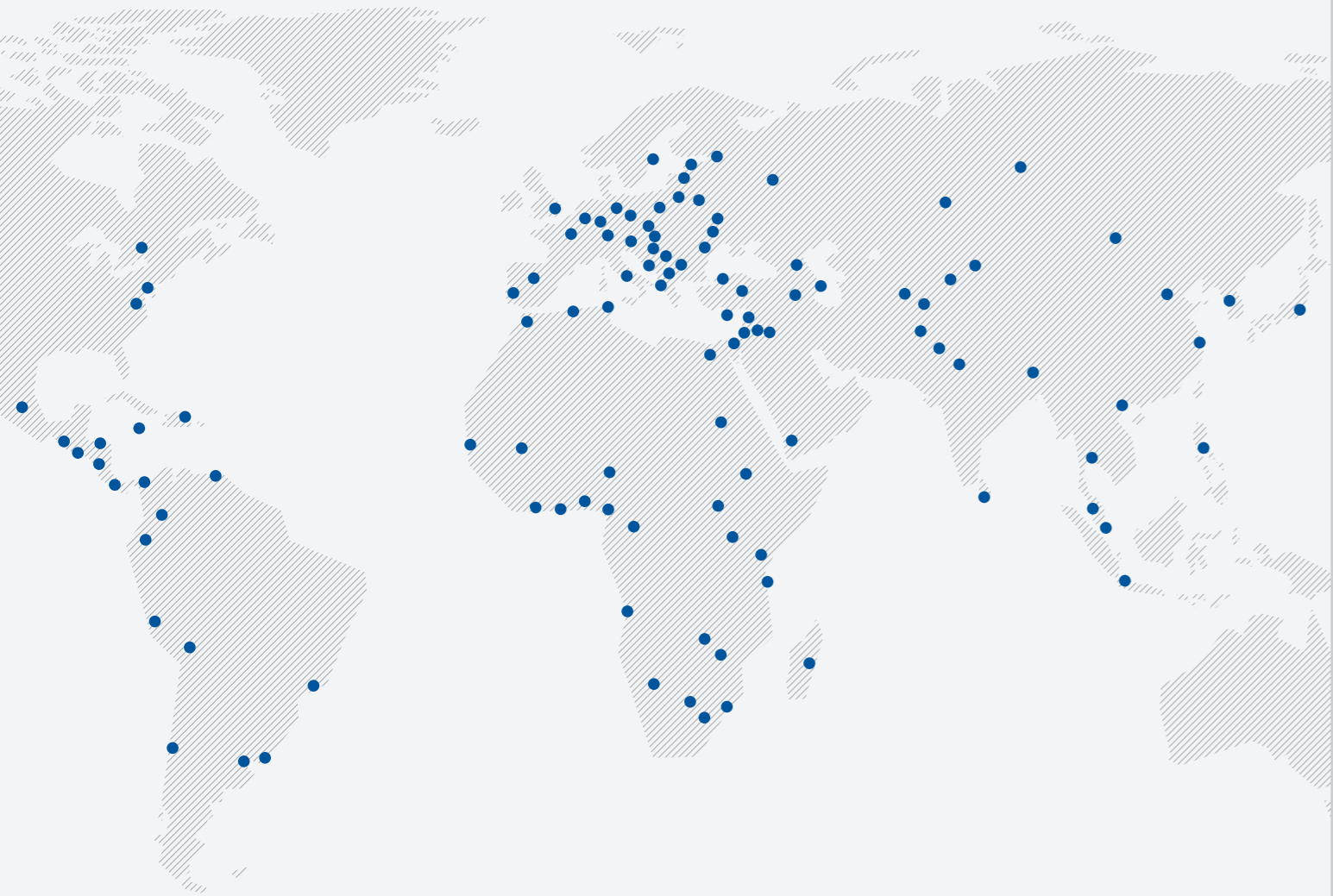


## 民主主義・平和・開発の推進 グローバル化に公共の視点を

世界100カ所を超える在外事務所



## FESのプロフィール

620名

**職員：**ボンおよびベルリン本部、研究所、州・地域事務所、在外事務所に計620名の職員が勤務（2010年）。

1億3600万ユーロ

**予算：**連邦と州からの補助金を中心に、1億3600万ユーロ（2010年）。

2700件

**奨学金：**一般学生、博士号取得を目指す学生に2700件の奨学金を交付。うち約250件は外国人への奨学金（2010年）。

2800件

**催し物：**研修セミナー、フォーラム、専門会議、展覧会など、年間2800件の催し物を開催。国内の参加者数は20万人超（2010年）。

90万冊

**図書館：**ドイツおよび国際労働運動に関する最大級の専門図書館で、蔵書は90万冊。ウェブサイトへのアクセスは年間3000万回超。

45000メートル

**資料：**ドイツ国内の政治財団で最も古い伝統を有する資料室には、社会民主主義、労働組合、重要な役割を果たした人物、その他解放運動に関する資料を多数保存。全て並べると全長4万5000メートルに。

## フリードリヒ・エーベルト財団

WWW.FES.DE  
PRESSE@FES.DE

**東京事務所**  
〒107-0052  
東京都港区赤坂7-5-56  
ドイツ文化会館4F  
Tel: 03-6277-7551  
Fax: 03-3588-6035  
<http://www.fes-japan.org/>  
[office@fes-japan.org](mailto:office@fes-japan.org)

**ボン本部**  
Godesberger Allee 149  
53175 Bonn  
Tel. ++49(0)228 883-0  
Fax. ++49(0)228 883-9207

**ベルリン本部**  
Hiroshimastraße 17 und 28  
10785 Berlin  
Tel. ++49(0)30 26935-6  
Fax. ++49(0)30 26935-9244

FES on facebook: <http://www.facebook.com/FESonline>  
FES on twitter: <http://twitter.com/FESonline>  
FES on YouTube: <http://www.youtube.com/FESonline>

# THINK ACT PARTICIPATE



FRIEDRICH  
EBERT  
STIFTUNG

フリードリヒ・エーベルト財団

## 国際協力

民主主義と開発を推進し、平和と安全の発展に貢献し、公共の視点からグローバル化の形を考え、欧州連合の一層の前進を支える。これがフリードリヒ・エーベルト財団（FES）の国際活動の基本方針です。当財団は100カ国を超える国々で活動し、市民社会と国家の形成と確立の過程を見守っています。

<span></span>
<b>国際協力は政府だけに任せておくにはあまりに重要すぎる。</b>
ヴァリー・ブランド

フリードリヒ・エーベルト財団の活動の一例として、ドイツと中国の労働組合の対話

フリードリヒ・エーベルト財団の活動の一例として、ドイツと中国の労働組合の対話

フリードリヒ・エーベルト財団の活動の一例として、ドイツと中国の労働組合の対話

近年、フリードリヒ・エーベルト財団の活動では、グローバルな問題や地域に関わる問題が重要性を増しつつあります。特に、ヨーロッパ統合と欧州近隣諸国に対する政策や、対米関係の一層の発展などのプロセスと、グローバルガバナンスの体制強化が注目されています。フリードリヒ・エーベルト財団は全世界で、安全保障問題、持続的な生態系の維持、そして社会の進歩へ向けた地域協力の試みを支援しています。

フリードリヒ・エーベルト財団の活動の一例として、ドイツと中国の労働組合の対話

在外事務所やパートナーからなる世界的ネットワークを使って、フリードリヒ・エーベルト財団は、今日の課題や問題に関する議論、論争の場を設けています。私たちのパートナーとは政党、労働組合、NGO、学術・研究機関、そして公的機関です。

## 東京事務所の活動

フリードリヒ・エーベルト財団東京事務所は、1967年にFES Asian Labor Institute（FESALI）の名称で開設されて以来、「国際対話」という大きな課題に取り組み、重要な役割を果たしてきました。同じ時期に、ドイツの民主的な労働運動や政治活動を共通の立場で議論する場をアジアにも設けたいとの考えから、他のアジア諸国にもFES事務所が開設され、共にアジア地域の国際協力に貢献してきました。

FES東京事務所は、特に社会民主主義の促進といった国際協力や、政治家・研究者・労働組合指導者間の交流など、国際対話に重点をおいた活動を続けています。また、歴代所長のもとでドイツをはじめ各国から著名な専門家を日本に招聘し、国際シンポジウム、講演会、懇談会、出版物などで下記のような重要なテーマを取り上げてきました。

- 国際環境・エネルギー問題
- ヨーロッパとアジアにおける地域統合
- 外交・安全保障政策をめぐるドイツ社民党の変化
- 歴史問題、歴史和解に関するNGOの取り組み、メディアと市民社会の役割、
- 日本とドイツにおける少子化・高齢化問題、社会福祉
- 年金制度の改革
- 日本とドイツにおける労働問題、労働組合
- 日独消費者団体の役割、消費者保護
- 移民、外国人労働者問題
- 宗教間の対話

## 歴史

<b>1925年</b>	2月28日、社会民主主義者フリードリヒ・エーベルト没（54歳）。初の民主的選挙で選ばれたドイツ共和国初代大統領。
<b>1925年</b>	3月2日、フリードリヒ・エーベルト財団設立。エーベルトの遺志を継ぎ、財団はあらゆる階層の人々の民主主義精神に基づく政治教育、才能ある若者の支援、ドイツと諸外国との相互理解の促進に資すべきとされた。

<b>1933年</b>	ナチスによる財団の活動禁止。
--------------	----------------

<b>1946年</b>	フリードリヒ・エーベルト財団再建。
--------------	-------------------

<b>1956年</b>	政治教育のため、フリードリヒ・エーベルト財団地域成人大学開校。
--------------	---------------------------------

<b>1963年</b>	開発協力省の助成により、開発協力体制の整備。
--------------	------------------------

<b>1969年</b>	社会民主主義史料室および図書館をボンに開設。
--------------	------------------------

<b>1990年</b>	旧東独地区および中・東欧諸国に事務所開設。
--------------	-----------------------

<b>1999年</b>	ベルリンに会議センター開設。
--------------	----------------

**現在**
フリードリヒ・エーベルト財団は、ドイツで最も歴史ある政治財団として、社会民主主義の理念と基本的価値観に資する民間公益文化機関である。

## 政治教育

フリードリヒ・エーベルト財団では、市民がボランティアとして、また議員として社会や労働組合、政治に積極的に関わってゆくことを勧め、その能力を付けてもらうことを目標として、政治教育活動を行っています。情報や対話、拠り所となる指針の提供、また能力向上プログラムなど、積極的な政治参加を促す多彩な活動によって市民の判断力や行動能力が育まれています。地域フォーラム、青少年向けセミナー「未来工房」、政治と社会の間の公開対話などによって、民主的な市民による政治への参加を促進しています。

## 奨学金制度

フリードリヒ・エーベルト財団は、教育の機会均等を非常に重視しています。そこで当財団は創立当初から奨学金を供与し、毎年、外国人学生も含めて2700人の学生、とりわけ博士号取得を目指す学生を支援しています。

フリードリヒ・エーベルト財団の奨学金制度の一例として、ドイツと中国の労働組合の対話

フリードリヒ・エーベルト財団の奨学金制度の一例として、ドイツと中国の労働組合の対話

フリードリヒ・エーベルト財団の奨学金制度の一例として、ドイツと中国の労働組合の対話

## 資料室・図書館

社会民主主義史料室（AdsD）と図書館には、社会民主主義と労働組合、重要な役割を果たした人物に関する多くの史料が、草稿も含めて保存されています。図書館は「政治・歴史の情報センター」として、ドイツおよび国際労働運動の歴史と現在、社会・現代史、政党や労働組合の刊行物を中心とする蔵書を有する世界最大級の専門図書館です。ドイツおよび国際労働運動や新しい社会運動、そしてドイツ連邦共和国とヨーロッパの動きに関する広範な資料が、利用しやすいように整理されています。

## 政治への助言

民主政治は意識の高い世論としっかりとした政治コンセプトの支えを必要とします。フリードリヒ・エーベルト財団は社会の主要な問題を分析することで、確かな土台に立った公の議論を、ドイツ、そして世界中で実現することに貢献し、政界や労働組合が試練にも耐え得る解決策を生み出す際に助言を与えます。この活動において当財団は、自由と正義、連帯などの社会民主主義の基本的価値観に導かれた方向性を示すことを重視しています。

フリードリヒ・エーベルト財団の助言活動の一例として、ドイツと中国の労働組合の対話

フリードリヒ・エーベルト財団の助言活動の一例として、ドイツと中国の労働組合の対話

専門家会合や個別テーマについての会議、ワークショップ、大規模な会議等が、フリードリヒ・エーベルト財団の主催によって地域・各国・全世界のレベルで開催され、政界や労働組合、学界、経済界、そして市民社会の代表者によるさまざまな政治問題を深く掘り下げた議論が行われています。このような形でフリードリヒ・エーベルト財団は、政治に携わる人々の行動能力と判断の改善に直接働きかけ、学問と現実政治の間の接点で政治への助言活動を行っています。

フリードリヒ・エーベルト財団の助言活動の一例として、ドイツと中国の労働組合の対話

<span></span>
<b>民主主義なくして自由はない(…)</b>
<b>自由を守り、それが奪われたところでは再び取り戻すこと</b>
<b>それは自由を愛する者がなさねばならぬことである</b>
フリードリヒ・エーベルト

フリードリヒ・エーベルト財団の助言活動の一例として、ドイツと中国の労働組合の対話

フリードリヒ・エーベルト財団の専門家、また財団の委嘱を受けた研究者による分析には強い期待が寄せられており、その成果は「WISO direkt（論文冊子：経済・社会学）」や「Internationale Politikanalyse（国際政治分析）」など、複数のシリーズで出版されています。これらはインターネット上でも利用でき、さまざまな会合で議論されています。